

男女共同参画に関する市民意識調査

ご 協 力 の お 願 い

日ごろより市政に対しご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

燕市では「燕市男女共同参画基本計画（燕市男女共同参画推進プラン）」に基づき、すべての男女が性別にかかわらず、互いの人権を尊重しながら、あらゆる状況で、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現に向けた施策の推進に取り組んでいます。

この調査は、現行の第3次プランの計画期間が令和4年度で終了することから、第4次プランの策定に向けて、男女共同参画に関する市民の皆様の考えをお伺いし、燕市の施策をさらに進めるための基礎資料とすることを目的として実施するものです。

今回、住民基本台帳から無作為に抽出した、市内にお住まいの満18歳以上の2,000名に回答をお願いしています。無記名でお答えいただき、統計的な処理を行いますので、個人情報がもれるようなことは一切ございません。また、ご回答の内容が、回答者の不利益になるようなこともございません。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和3年10月

燕市長 鈴木 力

◆ご回答にあたってのお願い◆

- 必ず宛て名のご本人が、ご自身のお考えでご回答ください。（ご本人の回答が難しい場合は、家族の方などがご本人の意向を確認し、代筆していただいて構いません。）
- ご回答は、特に説明のない限り、あてはまる項目を選び、その番号を○で囲んでください。
- 一部の方にだけお答えいただく設問もありますので、その場合は注意書きや矢印（→）にしたがってお答えください。
- 回答にかかる時間はおよそ15分です。
- ご回答の方法は、①「本調査用紙に直接ご記入」または、②「ウェブでのご入力」のどちらか一方をお選びください。※両方のご回答はご遠慮ください。

【①本調査用紙に直接ご記入いただく場合】

1. ご記入は黒のボールペンか濃い鉛筆などではっきりとお書きください。
2. ご記入いただきましたら、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに11月15日（月）までに投函してください。

【②ウェブで回答いただく場合（PC・タブレット・スマートフォン用）】

1. 右のQRコードを読み取るか、URLを手入力して回答ページを表示させてください。 URL：https://logoform.jp/f/8zB3z
2. ご回答は、11月15日（月）までをお願いいたします。



- お問い合わせ先 燕市企画財政部 地域振興課 協働推進係
〒959-0295 燕市吉田西太田 1934 番地
電話：0256-77-8361 / 電子メール：chiiki@city.tsubame.lg.jp

男女共同参画に関する市民意識調査 調査票

●あなた自身のことについて

【全員にお聞きします】

F1 あなたがとらえているあなたの性別は（○は1つだけ）

1 女性	2 男性	3 その他	4 回答しない
------	------	-------	---------

F 2 あなたの年齢は (○は1つだけ)

1	19 歳以下	2	20 歳～29 歳	3	30 歳～39 歳	4	40 歳～49 歳
5	50 歳～59 歳	6	60 歳～69 歳	7	70 歳以上		

F 3 あなたの職業は次のうちどれですか。(○は1つだけ)

- 1 自営業・家族従業者（農林漁業）
- 2 自営業・家族従業者（商業）
- 3 自営業・家族従業者（工業）
- 4 その他の自営業（開業医、弁護士、宗教家、芸術家など）
- 5 会社役員
- 6 正規の社員・職員でフルタイム勤務※
- 7 正規の社員・職員で短時間勤務
- 8 派遣・嘱託・契約・非常勤などの社員・職員でフルタイム勤務
- 9 派遣・嘱託・契約・非常勤などの社員・職員で短時間勤務
- 10 内職・自宅ワーク
- 11 家事専業
- 12 学生
- 13 無職
- 14 その他（ ）

※フルタイム勤務…概ね週5日、1日8時間程度

F 4 あなたは現在結婚していますか。(○は1つだけ)

1	結婚している（事実婚、同棲を含む）	→ F 5へお進みください
2	離別・死別	→ F 6へお進みください
3	未婚	→ F 6へお進みください

【F 4で「1 結婚している（事実婚、同棲を含む）」と答えた方にお聞きします】

F 5 あなたの配偶者（パートナー）の職業は次のうちどれですか。（○は1つだけ）

- | |
|--------------------------------|
| 1 自営業・家族従業者（農林漁業） |
| 2 自営業・家族従業者（商業） |
| 3 自営業・家族従業者（工業） |
| 4 その他の自営業（開業医、弁護士、宗教家、芸術家など） |
| 5 会社役員 |
| 6 正規の社員・職員でフルタイム勤務※ |
| 7 正規の社員・職員で短時間勤務 |
| 8 派遣・嘱託・契約・非常勤などの社員・職員でフルタイム勤務 |
| 9 派遣・嘱託・契約・非常勤などの社員・職員で短時間勤務 |
| 10 内職・自宅ワーク |
| 11 家事専業 |
| 12 学生 |
| 13 無職 |
| 14 その他（ ） |

※フルタイム勤務…概ね週5日、1日8時間程度

【全員にお聞きします】

F 6 あなたにはお子さんがいますか。あてはまる番号をすべて選んでください。

（○はあてはまるものすべて）

- | |
|----------------|
| 1 子どもはいない |
| 2 就学前の子ども |
| 3 小学生の子ども |
| 4 中学生の子ども |
| 5 高校生以上の子ども |
| 6 学校を終えた未婚の子ども |
| 7 結婚した子ども |

F 7 あなたの家族構成は、次のうちどれですか。（○は1つだけ）

- | |
|---------------------|
| 1 単身世帯（一人暮らし） |
| 2 配偶者（パートナー）との二人暮らし |
| 3 二世帯世帯（親と子） |
| 4 三世帯世帯（祖父母と親と子） |
| 5 その他（ ） |

●男女の地位の平等について

【全員にお聞きします】

問1 次のような場面・分野において、男女の地位は平等になっていると思いますか。

①～⑧のそれぞれの項目ごとに○をつけてください。(○はそれぞれ1つだけ)

	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	わからない
①家庭生活の中で	1	2	3	4	5	6
②職場の中で	1	2	3	4	5	6
③学校教育の場で	1	2	3	4	5	6
④地域社会（自治会など）の中で	1	2	3	4	5	6
⑤社会通念・慣習・しきたりで	1	2	3	4	5	6
⑥法律や制度の面で	1	2	3	4	5	6
⑦政治・経済活動の場で	1	2	3	4	5	6
⑧社会全体として	1	2	3	4	5	6

●男女の役割に関する考え方について

【全員にお聞きします】

問2 あなたは、次の①～④の考え方について、どのように思いますか。

あなたの考え方に最も近いものを項目ごとに○をつけてください。(○はそれぞれ1つだけ)

	賛成	賛成 どちらかといえば	反対 どちらかといえば	反対	わからない
①男性は仕事、女性は家庭を中心にするほうがよい	1	2	3	4	5
②男性も女性と平等に家事・育児・介護をすべきである	1	2	3	4	5
③子どもが小さいうちは母親が育児に専念すべきである	1	2	3	4	5
④女性は仕事をもつのはよいが、家事・育児を優先すべきである	1	2	3	4	5

●「ワーク・ライフ・バランス※」について

※ワーク・ライフ・バランスとは…

誰もが、仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など、様々な活動について、自ら希望するバランスで展開でき、多様な生き方が選択・実現できるようになること。

【全員にお聞きします】

問3 あなたの普段の生活時間を次のとおりに分けて考えると、それぞれに費やす時間は一日のうちでどれくらいですか。

※仕事や学校に行っている人は、平日と休日のそれぞれについて記入してください。

※該当しない項目は空欄としてください。

※①～⑥の合計が24時間に満たなくても結構です。

	仕事や学校に行っている人										仕事や学校に行っていない人					
	平日 (仕事や学校のある日)					休日 (仕事や学校のない日)										
①家事 (炊事、買物、洗濯、掃除など)			時間		分			時間		分			時間		分	
②育児 (子どもの世話、しつけ、教育など)			時間		分			時間		分			時間		分	
③介護			時間		分			時間		分			時間		分	
④仕事・学校 (通勤・通学時間を含む)			時間		分			時間		分			時間		分	
⑤睡眠時間			時間		分			時間		分			時間		分	
⑥自分の自由になる時間			時間		分			時間		分			時間		分	

【全員にお聞きします】

問4 仕事と、家庭生活・地域活動について、どのように位置づけるのが望ましいと思いますか。
(○は1つだけ)

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1 家庭生活・地域活動よりも、仕事に専念する2 家庭生活・地域活動よりも、どちらかといえば仕事を優先させる3 家庭生活・地域活動と仕事を同じように両立させる4 仕事よりも、どちらかといえば家庭生活又は地域活動を優先させる5 仕事よりも、家庭生活又は地域活動に専念する6 わからない |
|---|

問5 あなたは、男性と女性がともに家庭生活（家事、育児、介護）、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中からいくつでもお選びください。(○はあてはまるものすべて)

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1 性別にかかわらず、男女がともに家庭生活や地域活動に参加することへの抵抗感をなくすこと2 家事などを男女で分担するようなしつけや育て方をすること3 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること4 周りの人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考え方を尊重すること5 男女を問わず、家庭生活や地域活動に関心を高めるための啓発や情報提供を行うこと6 職場において家庭生活や地域活動に参加しやすい雰囲気をつくること7 労働時間短縮や休暇制度の普及により、仕事以外の時間を多く持てるようにすること8 特にない9 わからない10 その他（具体的に： _____） |
|---|

問 6 育児や家族介護を行うために、法律に基づき男女とも育児休業や介護休業などを取得できる制度があります。

この制度を活用して、男性が育児休業や介護休業などをとることについて、あなたはどのように思いますか。①～②の項目について、あなたの考えに最も近いものをそれぞれお選びください。

(○はそれぞれ 1 つだけ)

	賛成	賛成 どちらか といえ ば	反対 どちらか といえ ば	反対	わからない
①男性の育児休業・休暇	1	2	3	4	5
②男性の介護休業・休暇	1	2	3	4	5

【問 6 の①～②の項目の両方、またはどちらか一方について「どちらかといえば反対」「反対」と答えた方にお聞きします】

問 6－1 そう考えるのはどのような理由ですか。次の中から 3 つまでお選びください。

(○は 3 つまで)

1 周囲に取った男性がいないから 2 職場に取りやすい雰囲気がないから 3 仕事が忙しいから 4 取ると仕事上周囲の人に迷惑がかかるから 5 取ると人事評価や昇給などに悪い影響があるから 6 上司や同僚の理解が得られないから 7 取ると経済的に困るから 8 その他（具体的に：	)
---	---

【全員にお聞きします】

問7 あなたは、男性が育児休業や介護休業などをとることについて、現在、社会や企業の支援や理解は十分だと思いますか。①～②の項目について、あなたの考えに最も近いものをそれぞれお選びください。(○はそれぞれ1つだけ)

	そう思う	ある程度 思う	あまり そうは 思わない	そう 思わない	わからない
①男性の育児休業・休暇	1	2	3	4	5
②男性の介護休業・休暇	1	2	3	4	5

問8 ワーク・ライフ・バランスを推進していくことによる効果について、次の中から3つまでお選びください。(○は3つまで)

- 1 性別にかかわらず、家事・育児などの役割を担いやすくなる
- 2 性別にかかわらず、就業の継続や希望する職業への再就職が容易になる
- 3 自己啓発の時間が増え、能力が向上し、満足感を得ることができる
- 4 働く人が地域活動に参加するようになり、地域の活性化等につながる
- 5 長時間労働が減り、心身の健康に良い影響を及ぼす
- 6 多様な人材が活用できるようになり、労働力不足の解消につながる
- 7 一人ひとりの仕事への満足度が向上し、能力が十分に発揮され、効率的な働き方ができるようになる
- 8 仕事をもつ人が、子どもと関わる時間が増え安心して子どもを産み育てることができる
- 9 労働時間や働き方などを柔軟に選べる職場環境や、子育て環境が整い、少子化の進行を防ぐことができる
- 10 ニーズに対応した就業環境を提供し、従業員の意欲が高まり、人材を確保・定着させることができる
- 11 その他（具体的に：

問9 あなた自身の生活や周りの環境から判断して、ワーク・ライフ・バランスはいまの社会において、どの程度実現されていると思いますか？（○は1つだけ）

- 1 十分に実現されている
- 2 どちらかといえば実現されている
- 3 どちらかといえば実現されていない
- 4 実現されていない
- 5 わからない

●地域活動・女性の社会参画について

【全員にお聞きします】

問１０ あなたは現在、どのような地域活動に参加していますか。（○はあてはまるものすべて）

- | | | |
|------------------------|---|---------------|
| 1 自治会やまちづくり協議会などの地域活動 | } | → 問１２へお進みください |
| 2 ＰＴＡや子ども会などの青少年健全育成活動 | | |
| 3 社会奉仕、ボランティア活動 | | |
| 4 防災・防犯活動 | | |
| 5 １～４以外の地域活動 | | |
| (具体的に：) | | |
| 6 地域活動には参加していない | | → 問１１へお進みください |

【問１０で「６ 地域活動には参加していない」と答えた方にお聞きします】

問１１ 参加していないのはどのような理由ですか。（○はあてはまるものすべて）

- | |
|------------------|
| 1 仕事等が忙しく時間が取れない |
| 2 きっかけがない |
| 3 団体や活動の情報がない |
| 4 関心がない |
| 5 その他（具体的に：) |

【全員にお聞きします】

問１２ 現在燕市では、自治会などの地域団体において、会長などの役職に就く女性が少ない状況です。あなたは、地域における活動に女性のリーダーが少ない理由をどう考えますか。
(○はあてはまるものすべて)

- | |
|--|
| 1 女性は家事・育児・介護などで忙しいから |
| 2 組織をまとめることは女性には向いていないから（男性の方が適しているから） |
| 3 男性がリーダーになるのが慣習だから |
| 4 女性がリーダーになることに反発する雰囲気があるから |
| 5 女性が責任のある役を引き受けたがらないから |
| 6 男性中心の組織運営になっているから |
| 7 わからない |
| 8 その他（具体的に：) |

【全員にお聞きします】

問 1 3 あなたは、審議会の委員など、政策・方針決定の場に女性が参画することについてどう思いますか。(○は1つだけ)

※燕市の審議会等の女性委員の割合は 31.7%となっています。(令和3年4月1日現在)

- | | |
|---|-------------------------|
| 1 | 男性を上回るほど増える方がよい |
| 2 | 男女半々になるくらいまで増える方がよい |
| 3 | 男女半々まではいなくても、今より増える方がよい |
| 4 | 今のままでよい |
| 5 | その他(具体的に: _____) |

問 1 4 東日本大震災をはじめとするこれまでの災害の経験から、女性の視点を取り入れた災害対策が求められています。

あなたは、防災・災害・復興の場において、女性の参画や視点が必要とされるのは特にどのようなことだと思いますか。次の中から2つまでお選びください。(○は2つまで)

- | | |
|---|------------------------------------|
| 1 | 地域や職場などでの防災訓練や防災研修会等の立案、実施及び参加 |
| 2 | 市町村の防災計画・復興計画の策定過程への参画 |
| 3 | 避難所の設備(男女別のトイレ・更衣室、入浴施設、授乳室、防犯対策等) |
| 4 | 避難所の運営(運営組織の役員や妊産婦・幼児等への配慮等) |
| 5 | ニーズに配慮した物資の備蓄 |
| 6 | 被災者等に対する相談体制 |
| 7 | その他(具体的に: _____) |

問 1 5 あなたは、女性が職業を持ち、働き続けるためにはどのようなことが必要だと思いますか。次の中からいくつでもお選びください。(○はあてはまるものすべて)

- | | |
|----|-------------------------------------|
| 1 | 賃金・昇給・昇進・昇格等の男女間格差解消 |
| 2 | 育児・介護休業制度の充実 |
| 3 | フレックスタイム・在宅勤務など柔軟な勤務形態の導入 |
| 4 | 保育サービス(早朝・延長・休日・夜間・病後児・乳児保育)などの整備充実 |
| 5 | 介護サービス・施設などの整備充実 |
| 6 | 結婚・出産・育児・介護のために退職した社員の再雇用制度の充実 |
| 7 | 女性が働くことに対する家族や周囲の理解と協力 |
| 8 | 女性自身の自覚、意欲・能力の向上 |
| 9 | 男性の意識の変化 |
| 10 | 特にない |
| 11 | わからない |
| 12 | その他(具体的に: _____) |

●男女の人権について

【全員にお聞きします】

問 1 6 あなたは、身近でセクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）を見たり聞いたり、あるいは自分自身が受けたことや、したことがありますか。次の中からいくつでもお選びください。（○はあてはまるものすべて）

- | | | |
|------------------|---|----------------------|
| 1 見たり聞いたりしたことがある | } | → 問 1 6 - 1 へお進みください |
| 2 受けたことがある | | |
| 3 したことがある | | |
| 4 ない | | → 問 1 7 へお進みください |

【問 1 6 で「1 見たり聞いたりしたことがある」「2 受けたことがある」「3 したことがある」と答えた方にお聞きします】

問 1 6 - 1 それはどのような内容でしたか。次の中からいくつでもお選びください。
（○はあてはまるものすべて）

- | |
|--------------------------------|
| 1 性的な経験・冗談を言ったり、聞いたりする |
| 2 「女のくせに」「男のくせに」と差別的な言い方をする |
| 3 容姿について傷つくようなことを言う |
| 4 相手が嫌がっているのに、肩に手をかけたり、体にさわる |
| 5 結婚や出産など、プライベートなことについてたびたび聞く |
| 6 職場の宴会でお酌やダンスを強要する |
| 7 ノード写真などを見たり、貼ったりする |
| 8 立場や地位を利用して食事に誘ったり、性的な関係を強要する |
| 9 その他（具体的に： _____） |

【全員にお聞きします】

問 17 あなたは、配偶者やパートナーなどからの（への）精神的・身体的暴力（DV：ドメスティック・バイオレンス）を振るわれたり、振るったりした経験はありますか。

（○は1つだけ）

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1 精神的・身体的暴力を振るわれたことがある | → 問 18、問 19へお進みください |
| 2 精神的・身体的暴力を振るったことがある | → 問 18へお進みください |
| 3 経験はない | → 問 22へお進みください |

【問 17で「1 精神的・身体的暴力を振るわれたことがある」「2 精神的・身体的暴力を振るったことがある」と答えた方にお聞きします】

問 18 あなたが、経験した配偶者やパートナーなどからの（への）精神的・身体的暴力（DV：ドメスティック・バイオレンス）はどのようなものでしたか。次の中からいくつでもお選びください。（○はあてはまるものすべて）

- | |
|-------------------------|
| 1 命の危険を感じるくらいの暴力 |
| 2 治療が必要となるくらいの暴力 |
| 3 治療が必要とならないくらいの暴力 |
| 4 性的な行為の強要 |
| 5 何を言っても無視し続ける |
| 6 見たくないのに、ポルノ雑誌・ビデオを見せる |
| 7 交友関係や電話を細かく監視する |
| 8 「誰のおかげで生活できるんだ」などと言う |
| 9 大声で怒鳴る |
| 10 その他（具体的に： _____） |

【問 17で「1 精神的・身体的暴力を振るわれたことがある」と答えた方にお聞きします】

問 19 あなたは、このような行為を受けていることを、誰かに相談等をしましたか。

（○は1つだけ）

- | | |
|-----------|----------------|
| 1 相談した | → 問 20へお進みください |
| 2 相談しなかった | → 問 21へお進みください |

【問 19 で「1 相談した」と答えた方にお聞きします】

問 20 実際に、どこ（だれ）に相談をしましたか。次の中からいくつでもお選びください。
（○はあてはまるものすべて）

- | | |
|---------------------------|---|
| 1 家族 | |
| 2 友人・知人 | |
| 3 同じ経験をした人 | |
| 4 家庭裁判所・弁護士・警察など | |
| 5 公的機関（相談窓口・電話相談） | |
| 6 医師・カウンセラーなど | |
| 7 民間の機関など（NPO など民間支援グループ） | |
| 8 その他（具体的に： | ） |

【問 19 で「2 相談しなかった」と答えた方にお聞きします】

問 21 相談しなかったのはなぜですか。次の中からいくつでもお選びください。
（○はあてはまるものすべて）

- | | |
|---|---|
| 1 相談するほどのことではないと思ったから | |
| 2 自分にも悪いところがあると思ったから | |
| 3 自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思ったから | |
| 4 相談しても無駄だと思ったから | |
| 5 恥ずかしくてだれにも言えなかったから | |
| 6 どこ（だれ）に相談してよいのかわからなかったから | |
| 7 相談したことがわかると、仕返しを受けたりもっとひどい暴力を受けたりすると思ったから | |
| 8 その他（具体的に： | ） |

●男女共同参画社会に向けた法制度等について

【全員にお聞きします】

問 2 2 あなたは、次にあげるものの名称や言葉についてご存じですか。項目ごとに○をつけてください。（○はそれぞれ1つだけ）

	知 つ て い る	内 容 ま で	が あ る 聞 い た こ と	知 ら な い
① 男女共同参画社会基本法	1		2	3
② 男女雇用機会均等法	1		2	3
③ 育児・介護休業法	1		2	3
④ 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律（DV防止法）	1		2	3
⑤ 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）	1		2	3
⑥ 燕市男女共同参画推進条例	1		2	3
⑦ 燕市男女共同参画基本計画（燕市男女共同参画推進プラン）	1		2	3
⑧ ジェンダー（社会的性別）	1		2	3
⑨ ポジティブ・アクション（積極的格差是正措置）	1		2	3
⑩ リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）	1		2	3
⑪ ワーク・ライフ・バランス	1		2	3
⑫ L G B T Q※・性的少数者	1		2	3

※ L G B T Q…レズビアン（女性同性愛者）、ゲイ（男性同性愛者）、バイセクシャル（両性愛者）、トランスジェンダー（出生時に診断された性と、自認する性が一致しない人）、クエスチョニング（自分自身の性を決められない、分からない、または決めない人）の人々を意味する頭字語。

【全員にお聞きします】

問 2 3 あなたは、男女共同参画を進めていくために、今後、市がどのようなことに特に力を入れていくべきだと思いますか。次の中から**3つまで**お選びください。(○は**3つまで**)

- 1 出産や子育てで離職した女性の再就職を支援する取組
- 2 企業や団体において女性の管理職やリーダーを育成するための取組
- 3 多様で柔軟な働き方（テレワークや在宅勤務、フレックスタイム制など）や仕事と育児・介護との両立支援の推進に向けた企業への働きかけ
- 4 男性の育児休暇・休業の取得促進に向けた企業への働きかけ
- 5 保育園や小学生の居場所など、子育てしながら働くための環境整備
- 6 配偶者やパートナー間の暴力（DV）や性犯罪・性暴力を防止するための取組
- 7 経済的に不安定な非正規雇用やひとり親家庭への支援
- 8 産前産後支援や女性特有のがん対策など、ライフステージに応じた女性の健康支援
- 9 LGBTQなど性的少数者への支援と理解促進
- 10 男性が家事・育児に積極的に関わる機会づくり
- 11 地域防災活動に取り組む女性の増加と、避難所運営をはじめとした女性の視点を盛り込んだ防災対策の充実
- 12 「女（の子）らしさ」「男（の子）らしさ」ととらわれず、自分らしく生きるための教育の充実
- 13 男女共同参画やジェンダー、性について理解を深めるための広報や学習機会の充実
- 14 その他（具体的に：

●ご意見・ご要望等

今後、男女共同参画を推進していくためには、どのように取り組んでいけばよいかご意見・ご要望・ご提案などございましたら、自由にご記入ください。

[illegible]

お忙しいところ、ご協力いただきましてありがとうございました。

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、

11月15日（月）までにご投函くださいますようお願いいたします。